## 備前市事務事業評価表

				٥4-03-01-04		事務事業の評価		□ 関係法令等で目的が定められており妥当である			(平成18年度事業)		
事務事業名	国立公園管理事業	(日生)	担当課	·係 日生総合支所産業建設課							妥当性評価 < A ~ E >	В	
			担当	者 星尾靖行		目		□ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成さ	れている		課題認	識	
事業実施期間			電	話 72-1254		的 目的の妥	当性	□ 事業開始当初の目的から変化しつつ					
	大項目(基本目標) もてなし	カ心とたくましさのを	_					▽ 現在の市を取り巻く環境からも目的					
総合計画	由項目/甘木佐笠) 個世まる。	<u>いる観光のまちづくり</u>		,		प्रेर्ग		□ 場合の形を取り合く級がからられた □関係法令等:	1027 600	ר			
事業(政策)体系	小項目(施策) 観光地の		<u>'</u>			象		□ 受益者の拡大を検討する余地がある					
	10項目(旭東) 観光地の	置欄			$\sim$	対象の妥	<b>北州</b>	□ 受益者の縮小を検討する余地がある					
事業について	1					内	=11		,		国立公園日生諸島の観光	施設をきれい	
争来について						容		▼ 現在の対象者は妥当である	フ事光マナフ		に維持管理することで、	観光客の誘客	
- 4					事業の目的、対象、	0	1/2 1/2	□ 市民、団体などから要望・要請のあ	る争業である		を図ると共に、市民にも		
目的	国立公園日生諸島の観光資源、施	設をきれいに維持管理	里することで観	親光客の誘客を図る。	事業の目的、対象、 内容を考えながら目	妥 市民ニー人の	り妥当性	□ 市民に概ね好評な事業である			いただくことは妥当であ	る。	
(何のために)			_,		的妥当性の評価を	当		✓ 公共秩序の維持、行政の適正運営に		5			
					行って下さい。	性		<ul><li>■ 国・県又は関係法令で定められてい</li></ul>	る事業である				
						一部 市の関与の	双当性	└ 民間に類似サービスがある					
対 象	観光客及び市民						XJII	<ul><li>✓ 本市が関与すべき事業である</li><li>✓ 事業を取り止めた場合の影響は大である</li></ul>					
(誰・何を対象に)													
								□ 単位当たりコストは増加傾向にある	)		効率性評価 < A ~ E >	В	
							± +- //.	□ コスト削減の努力をしている			課題認	識	
内 容 トイレ・休憩所等の清掃及び観光施設周辺の草刈り。						コストの効率	70平化	□ できる限り民間活力を利用している					
						効		□ 受益者負担額は適正である					
						率		✓ 最適な手段を求めて職場内で確認・	目古した行って!	12	1		
	l					性手段の最	海ル			1.0	市米が田ナムエレかパト	知小声 士	
古光の仕里	1					の一手段の取	개발기간	□ 他に有効な代替手段が見当たらない			事業効果を検証しながら		
事業の結果	1 - 7 - 75	,			5 /	評		事業は他部署と密接な連絡調整を行			民の要望に対応できるよ	フに官埋する	
実施項目	17年度	18年度	•	- 10	/ ./	価		□ 事業に関して事務改善等作業効率の		•	必要がある。		
	回数など (単位)	回数なと		回 数 な ど (単位)		職場の効	率化.	□ 事業に関するOJT(職場研修)は行					
委託団体数	2 団体		2 団体			444-93 02 7/3	710	☑ 事業の進行管理を定期的に行っている。	る				
大多府町内会清掃分								□ 事業実施について職員の意見・要望	が反映されやすい	1			
トイレ・シャワー室等	364 日		359 日		事 <b>米弗</b>	D 65'-5-5	*#	<ul><li>成果指標の目標値は目標年度に達成</li></ul>	できそうである		有効性評価 <a~e></a~e>	В	
頭島GG同好会分					事業費や単位当たり コストに留意しなが	目的達成	以泛	□ 成果指標は前年度より向上している	,		課題認	識	
展望台清掃・草刈り	12 ⊟		12 日		ら効率性の評価を	7th		□ 成果は向上しており今後も向上する	見込みである				
	事業費 財源	事業費	財源	事業費財源	行って下さい。	成果向上の	可能性	▽ 今後、成果指標は向上する余地があ					
事業費	直接事業費 1,276 国際補助金等	直接事業費 1,841 回原補	N 3 m3.	直接事業費 国際補助金等		0		事業について積極的に情報提供して			観光を推進して行く上で		
尹 未 貝	人件費 1,178 受益者負担	人件費 634 受益4		人件費 受益者負担		評		☑ 事業実施等で積極的に市民意見を反			であるため、今後も検証	しながら進め	
(単位:千円)	市債		債	市債	A	一 市民参	画度	□ 事業にはNPO、ボランティア団体等			ていく必要がある。		
(+14:113)	合計 2,454 -般財源等 2,454		対源等 2,475		/			□ 事業のプラン作りから市民参加を得		. 7			
必要人員	0.16 人	0.06	nate 2,473	プロロ U 放約赤号 U	/			□ 事業のプラフFリから市民参加を信	も一段をとうこ	10			
				٨.	/	<b>亚芹40左</b>	E 44 211						
結果指標名	清掃回数	清掃回数			/	平成19年度		休止している。					
結果指標量	378	371			4	□ 重点化してい	-						
半 単位	日	日							部経費を節減して	て継続してい	<b>3</b> .		
標 対前年比	_	98.15%		0.00%	/ /	☑ 見直し継続し		甲成18年度で廃止・完了 明	が、社会とはから	C MEMOLO CV .	•		
活動にかかるコスト	2,454,000 m	2,475,000	円	円	/ /	□ 事業を縮小し	ている						
単位当たりコスト	6,492 ⊞	6,671	円	Ħ	事業の目的やその数	指果指 目標値 結果指	標量	371	結果指標量				
結果指標名					値目標だある成果指	成果排	旨標量	適正な管理					
結 結果指標量					標に留意しながら有								
果 単位					効性の評価を行って	総合評価							
超 対前年比	_				下さ <b>が</b> 。							評価区分	
活動にかかるコスト	Ħ		円	В	/ //	国立公園日生諸	島の観光	<b>・</b> ・ 資源・施設をきれいに維持管理する	ことで 観光客	の誘客を図り	効果を検証しながら	< A ~ E >	
単位当たりコスト	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	E E	п	/ /			きるよう維持管理する必要がある。			、ながらが無のなりの			
	13	I.	- 13		' / /	^						В	
事業の成果	1				/ //								
T-70-1000						平成20年	き以降の	方向性					
どのような成果を得					/ //				業の縮小を検討す	† S			
ようとしているか	日生諸島の観光施設きれいに維持	管理することで、観爿	<b>光客の誘客を図</b>	図る。	/ //	□ 現状の記			上・廃止を検討す	_	□ 平成19年度で影	計・事で	
0,500000					L /	□ 現状の。			D事業と統合を		☐ +M19+BCB	8II 76 J	
			1		7		ソンんじ	☆ □ 100	ル尹未 こ 統	G 6 filt			
						ではって左右	川陸のコ	h 美東 位					
成果指標名	施設の維持管理	式又は説明	きれい	\に施設の維持管理ができた		平成20年度	以降の[		76 × n+ #0		75 ギート17 地グナセスカ		
						評価の視点		改善内容	改善時期		改善により期待される交	川禾	
	47/5	107-				妥当性	事業費の	D見直しのうえ継続	随時	経費節減			
+	17年度	18年度	Ł				3		1 -				
成果指標量	378	371							1				
対前年比	_	98.15%		0.00%									
到達目標値	適正な管理	到達目標年度		毎年度					1				
					İ	i .			1	1			